

## 2018 年

### I-JAS を利用した講演・学会発表

- 石川慎一郎「日本語・日本語教育研究の新視点ーコーパスから得られる言語事実を立脚点としてー」高知大学国際連携推進センター主催平成 30 年度講演会及びワークショップ、高知大学（高知）、2018 年 5 月
- 石川慎一郎「日本語教育研究者のための統計入門」高知大学国際連携推進センター主催平成 30 年度講演会及びワークショップ、高知大学（高知）、2018 年 5 月
- 石川慎一郎「日本語・日本語教育研究者のためのコーパス入門ー計量的言語研究の魅力と課題ー」東京外国語大学大学院国際日本学研究院 日本語教育専攻学生のための研究セミナー、東京外国語大学留学生日本語教育センター（東京）、2018 年 12 月
- 石川慎一郎「L2 語彙力の発達をどう見取るか？どう数えるか？」第四回 学習者コーパス・ワークショップ & シンポジウム、東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター（東京）、2018 年 12 月
- トムソン木下千尋「I-JAS データから見える学習者の学びー社会文化アプローチのレンズを通してー」学習者コーパス研究会 1 月例会、広島大学東京オフィス C I C（東京）、2018 年 1 月
- 小口悠紀子「日本語学習者を対象とした第二言語習得研究の理論と方法ー主題をあらわす「は」の習得研究から見てきたことー」中国語話者のための日本語教育研究会、西安外国語大学（中国）、2018 年 3 月
- 小口悠紀子「日本語学習者の物語発達にあらわれる評価表現ー母語話者との比較の観点からー」第 4 回学習者コーパス・ワークショップ&シンポジウム、東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター（東京）、2018 年 12 月
- 迫田久美子・佐々木藍子・須賀和香子・細井陽子「日本語のモダリティ『かなと思う』ーコミュニケーション機能と学習者の言語使用ー」平成 30 年度コーパス合同シンポジウム『コーパスに見る日本語のバリエーションーモダリティ研究の可能性ー』、国立国語研究所（東京）、2018 年 9 月
- 迫田久美子「学習者コーパス研究の可能性ー日本語学習者のデータから学ぶ日本語の教え方ー」西安日本語教師研修会（中国）、2018 年 10 月
- 迫田久美子・佐々木藍子・須賀和香子・細井陽子「学習者コーパスを活用したモダリティ研究の可能性」NINJAL シンポジウム「データに基づく日本語研究」、東京証券会館（東京）、2018 年 12 月
- 佐々木藍子「日本語教育研究のためのコーパス構築と活用法」2018 年度 横浜国立大学大学院 日本語教育領域 修士論文中間発表会・夏合宿、2018 年 7 月
- 佐々木藍子「日本語学習者における接続助詞『から』の発達過程ー『だ』の脱落・付加の誤用に着目してー」2018 年度 横浜国立大学大学院 日本語教育領域 修士論文中間発表会・夏合宿、2018 年 7 月
- 影山陽子・佐々木藍子・田中真理「欧州日本語学習者によるライティングのレベル別サンプルーホリスティック評価とマルチプルトレイト評価から見える多様性ー」2018 年日本

語教育国際研究大会、カ・フォスカリ大学（イタリア）、2018年8月

- 佐々木 藍子・砂川 有里子・浅原 正幸「日本語の非流ちょう性 ―とぎれと延伸の数量調査から―」言語資源活用ワークショップ2018、国立国語研究所（東京）、2018年9月
- 佐々木藍子「日本語学習者における接続助詞「～から」の発達過程の汎用性検証―接続助詞「～ので」「～のに」を対象に―」第四回学習者コーパス・ワークショップ&シンポジウム、東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター（東京）、2018年12月
- 砂川有里子「翻訳リソースとしてのコーパスの活用法およびその指導」2018年度大学日本語セミナー「タイの日本語教育における翻訳授業を考える」、国際交流基金バンコク日本文化センター（タイ）、2018年7月
- 砂川有里子「学習者の日本語に学ぶ辞書の落とし穴」国際シンポジウム『コミュニケーションのための日本語学習辞書を求めて』、国際交流基金日本語国際センター（埼玉）、2018年7月
- 砂川有里子「日本語教育に役立つコーパスの使い方」国際シンポジウム「新世代の日本語学習」、ユライ・ドブリラ大学プーラ（クロアチア）、2018年9月
- 砂川有里子「日本語教育と研究に役立つコーパス調査の方法」日台交流協会、台湾大学総合教学館（台湾）、2018年11月
- 砂川有里子「日本語教育と研究に役立つコーパス調査の方法」日台交流協会・静宜大学伯鐸樓（台湾）、2018年11月
- 砂川有里子「日本語教育に役立つコーパスの使い方」日台交流協会、実践大学高雄校（台湾）2018年11月
- 砂川有里子「言語教育と文法研究との接点―非流ちょう性の研究から発話産出メカニズムの理論へ―」日本語音声コミュニケーション学会、プラサ ヴェルデ（静岡）2018年11月
- 砂川有里子「学習者コーパスを使った日本語の談話分析」新潟大学大学院現代社会文化研究科特別講義、新潟大学（新潟）2018年12月
- 東伴子「依頼行為におけるバリエーション―学習者コーパスから―」日本語のバリエーションと日本語教育、パリ・ディドロ大学（フランス）、2018年3月
- Masahiko Minami「Analyzing Japanese-language learners' narratives in the context of language education」Foreign Language Association of Northern California (FLANC) Fall 2018 Conference and Workshops, Saint Mary's College of California (America)、2018年10月
- 南雅彦「日本語学習者の「語り」から見えてくる習熟度―語彙・時制・視点―」第四回学習者コーパス・ワークショップ&シンポジウム、東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター（東京）、2018年12月
- 南雅彦「「優れた語り」とは何か―一貫性と結束性から考える日本語学習者の語り―」日本語サロン研修会、凡人社麴町店（東京）、2018年12月